

赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

平素より、赤十字活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年度、地区分区を通じてお寄せいただいている活動資金の見込状況及び活動報告は次のとおりです。

令和3年度活動資金見込

(令和3年10月末日現在)

258,179千円

(参考) 令和2年度活動資金実績

265,095千円

地区(市)扱い

197,029千円

201,734千円

分区(町村)扱い

61,150千円

63,361千円

※支部及び本社に直接お寄せいただいた活動資金は上記から除く。

あなたのご寄付でできること

2,000円で



災害時等に配布する
「毛布(1枚分)」を
整備できます。

3,000円で



避難所生活の負担を軽減する
「安眠セット(1人分)」を
整備できます。

25,000円で



人工呼吸や胸骨圧迫を練習する
「心肺蘇生訓練用人形(1体)」
を整備できます。

100,000円で



AED(自動体外式除細動器)の
使い方を学ぶ
「AEDトレーナー(1台)」を
整備できます。

※整備した物品は、長野県内各地で利用されます。

未来につながる赤十字活動



“こころ”を守るための 人権教育

県内各地の学校で感染症がなぜ差別・偏見に繋がるかを学び、コロナ対応の医療従事者へ感謝のメッセージボードを作製し医療施設へ届けました。



“いのち”を守るための 防災教育

学校等では、感染防止対策を講じながら、いのちの大切さを学ぶ防災教材「まもるいのちひろめるぼうさい」を活用した防災教育に取り組みました。



とっさの手当てが “いのち”を救う

コロナ禍においても、いざというときに備えるために生徒一人ひとりが十分な距離を確保して心肺蘇生等の実技を学びました。

赤十字は、いかなる状況下でも

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、さまざまな活動を行っています。

日本赤十字社の活動は、たくさんのボランティアの方々にも支えられています。

心に寄り添う大切さを、伝えたい

地域赤十字奉仕団 研修推進委員 有賀 美紀子さん



地域赤十字奉仕団研修推進委員として、防災を楽しく学べる研修を、各地で行っています。赤十字活動の経験を活かし、博愛の精神と、心に寄り添うことの大切さを、多くの方々に伝えられるように頑張っています。みなさんからいただくご支援を、いざという時に地域を守る活動に、しっかり役立てていきたいと思っています。

一緒に、ボランティアを、楽しもう

青年赤十字奉仕団 西山 瞳子さん・吉谷 麻里さん・渡邊 愛さん



私たちは、20代中心の若いメンバーでボランティア活動を行う、長野県青年赤十字奉仕団です。人のためにできることは何か、メンバーで意見を出し合い、さまざまな活動に取り組んでいます。ボランティアに関心があるけれど、何をすればいいかわからない、という方は、ぜひメンバーになってほしいですね。きっと新しい発見があるはずです。人を想い、人の力になれること、一緒に考えませんか？

身近な人を、助けるために

赤十字救急法指導員 秋山 恵子さん



赤十字救急法指導員として、長野県内各地で、AEDの使い方、心肺蘇生などの救急法の講習会を行っています。いざという時に、「人を助ける」という意識があるだけで、できることがたくさんあります。大げさなものじゃなくていいんです。「身近な人を助けたい」という気持ちを大切に、できることから一緒に学んでいきましょう。

人への気遣いを、育てる学校

佐久市立田口小学校校長 砥石 順一さん



私たちの小学校は、青少年赤十字活動を教育に取り入れています。清掃活動や、日々の学習の中で、お友達を気遣い、困った人がいたら助ける、という気持ちを育て、受け継いでいくことで、地域貢献ができる大人になってほしいですね。

皆さまの温かいご協力ありがとうございました。

令和2年度 決算報告

収入

収入合計	378,701千円
内訳	
個人からの活動資金	284,563千円
法人からの活動資金	18,456千円
委託金・補助金及び交付金収入	13,582千円
資金繰入金	17,469千円
資産収入及び雑収入	7,783千円
翌年度当初の事業資金	36,848千円

※下記については歳入・歳出から除く
災害義援金預り金収入など 148,529千円

支出

